

令和6年9月13日

6年生保護者の皆様

刈谷市立富士松北小学校長
細川 圭子

全国学力・学習状況調査の調査結果について

初秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。

さて、4月18日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が、文部科学省より届きました。分析の方針と本校の結果（概要）を下記のようにお知らせします。本日配付いたしました個人票と併せてご活用ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および愛知県教育委員会は、結果の公表について「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、富士松北小学校の傾向を国・県・市の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。

なお、本調査結果は本校のホームページにも掲載します。

2 本校の概要

国語	<ul style="list-style-type: none">・満足できる状況であるが、伸ばしたい点がある。・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりすることに、特に優れている。・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。・今後は、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う力を伸ばしていきたい。
算数	<ul style="list-style-type: none">・十分に満足できる状況である。・図形に関する知識・理解に、特に優れている。中でも、円の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係についての理解や、角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数で用いて記述する力が高い。
児童質問紙	<p>朝食の摂取や、就寝・起床時間など、基本的な生活習慣が身に付いている児童の割合が高い。日常生活におけるタブレットやスマートフォンなどのICT関連機器の使用について、ゲームやSNS、動画の視聴に浪費してしまう時間も、学習のための有効なツールとして活用する時間もとても短い。よくも悪くも依存度が低い状況である。</p> <p>「人が困っているときに進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」という児童の割合が高く、人間関係における自己有用感の高さがうかがえた反面、「自分にはよいところがあると思う」「ふだんの生活の中で、幸せな気持ちになることが多い」という児童の割合が高くなく、自己肯定感が高くない傾向が見られた。一方で「地域や社会をよくするために何かをしたい」「分からないことや詳しく知りたいと思うことがあれば、学び方を考えたり、工夫することができる」という児童の割合が高く「生活の質の向上を図ろうとする」姿が見られた。この姿を「自分のよさへの気付き」や「幸福感の向上」につなげられるようにしていきたい。</p>

※ 全国平均との比較では無回答率がとても低く、前向きに取り組もうとする様子が見られる。特に記述式の問題の無回答率が極めて低く、正答率も高い傾向にあることから、児童の「書くこと」への意欲と力の高さがうかがえる。

【本件に関するお問い合わせ：刈谷市立富士松北小学校 教務主任 鶴飼 篤史（Tel：0566-36-5414）】